



1年次から自分なりの学びが計画でき  
図書館や農場・植物園などの各施設を  
自主学習の場に活用しています

**横田 大護郎** (新潟県立長岡農業高校出身)  
農学部農学科2年  
住まい/ひとり暮らし (厚木市内)  
アルバイト/東京農業大学 行事サポートスタッフ  
クラブ・サークル/ボランティア部

新潟県の実家は農業を営んでおり、将来は地元の農業に貢献することを目的に入學しました。厚木キャンパスでは授業はもちろん、自主学習にも利用できる施設が充実しているので、1年次から自分なりの学びを計画し1日を有効に送ることができます。また首都圏にありながらキャンパス周辺は家賃も安く、アルバイトを気にせず学業に専念しやすい環境です。



1時限目の授業(物理学)  
図書館で文献探し

図書館は自主学習に不可欠の場で、ほぼ毎日通っています。授業で習った項目に関連文献で復習したり、レポート作成もここでよくおこないます。窓からの眺望が素晴らしいのもこの図書館の魅力です。



3時限目の授業(心理学概論)

植物園でサボテン系の植物を観察

多肉植物に興味があり、キャンパス内の植物園温室を訪れて以来、先生の許可を得てガステリアやハオルチアなどの生育の観察を続けています。訪ねるたびに初めて見る植物も多く、新たな出会いが尽きません。



土曜日はボランティア  
ボランティア部の活動を週末におこなうことも少なくありません。厚木市内の総合病院を訪れて患者さんたちの車イスや点滴スタンドのクリーニングをします。

[1カ月の収支]

●収入	
仕送り	50,000円
アルバイト	20,000円
収入合計	70,000円
●支出	
家賃	31,000円
食費	18,000円
光熱費	8,000円
雑費	5,000円
貯金	8,000円
支出合計	70,000円

お金をかけなくても楽しい時間はあふれています  
家での食事は自炊が基本。ひとり暮らしの友人同士で工夫し合い、お金をかけなくても楽しい過ごし方をたくさん考えました。ギョーザパーティーやタコ焼パーティーもよくやります。今後は社会経験のためアルバイトの職種も広げる予定です。お金を貯めて友人の故郷を訪ねる小旅行をしたいと思っています。

## 1日編

横田さんの時間割(1年次後期)

	月	火	水	木	金
1時限			育種学		物理学
2時限		昆虫学	園芸学(二)	経済入門	
3時限	日本国憲法				心理学概論
4時限	植物病理学		英語(二)	情報基礎(二)	
5時限	共通演習			農業ビジネスデザイン(二)	

横田さんの1日(1年次)

- 7:00 起床** 1時限目のある日はこの時間に起床。朝食はかならず摂るようにしています。得意料理はオムレツです。
- 8:40 キャンパスに到着** ひとり暮らしのワンルームのアパートから大学までは自転車で8分。キャンパス内の駐輪場に愛車をとめ、1限目の物理学の教室へ。
- 9:00 1時限目の授業(物理学)**
- 10:40 図書館で文献探し**
- 12:10 学食でランチ** 学食はカフェテリア方式で毎日のように利用しています。すべてのメニューにカロリー表示があるので、健康管理に役立てています。天気の良い日は講義棟の屋上でランチすることも。
- 13:00 3時限目の授業(心理学概論)**
- 14:40 トレーニングルームで筋トレ** 体育館にあるトレーニングルームは週1回の筋トレに利用。身体がなまらないよう自分でケアしています。
- 15:40 ボランティア部でクリスマスイルミネーション作り** クリスマスまであと1週間。この日は、竹林伐採ボランティアで残った竹を使って学食前の芝生でキャンドルイルミネーションを制作しました。
- 18:30 帰宅**



## 1年編

小川さんの時間割(3年次前期)

	月	火	水	木	金
1時限		伴侶動物 ブリーディング論	分業別 実験・実習・ 演習		
2時限		ボランティア論			
3時限		園芸植物活用法			
4時限	動物形態・ 分類学	TOEIC 英語(一)			
5時限					
6時限					



ウマを介したセラピーに注目  
インストラクターをめざして  
乗馬療法に取り組んだ3年次

**小川 春奈** (広島県・広島なぎさ高校出身)  
農学部バイオセラピー学科4年 動物介在療法学研究室  
住まい/ひとり暮らし (厚木市内)  
アルバイト/東京農業大学 行事サポートスタッフ

福祉やボランティアに興味があった私は、研究室に入室以来、馬を介したセラピーの奥深さに魅了されてしまいました。乗馬療法のインストラクターになる日をめざして、3年次の1年間は研究室の3頭のウマを相手に、また休日は乗馬療法の普及をめざす宇都宮の牧場に足を運び、ウマと一緒に「障がい児への療法」を探求し続けました。



研究室に所属

正式に研究室に所属。先輩たちから研究室活動のルールやマナー、実験の進め方などをレクチャーしてもらいました。乗馬療法を研究している先輩の話を聞き、乗馬を通じて障がい児たちの心身の改善をめざすセラピーに強い興味をもちました。

研究室で動画分析の実習

自分の専門領域を乗馬療法に絞りました。セラピーを実践する様子を撮影した動画から、セラピー効果を分析するためのPC操作の技術を学びました。



研究室のゼミ合宿

栃木県でおこなわれた1泊2日のゼミ合宿に参加。障がいをもつ人たちの自立をめざした地元のファイナリーとブドウ畑を訪問し、障がい者支援や農業生産の一端にもふれました。



収穫祭でウマの研究のパフォーマンス



研究室ではビザの模擬店を出店するかたわら、手製のカブリ物を使って、来場者に私たちの研究内容をPRしました。

卒業研究が本格化

卒業研究では、ある障がい児とそのご家族の理解と協力を得て、定期的なセラピーの実践を開始しました。ウマもその児童のことを覚えてくれたようなので、療法の効果が期待されます。

小川さんの1年間(3年次)

- 3月 入室予定の研究室で当番研修** 研究室に所属する前に、研究室が管理する動物の当番の仕事を覚えます。私はウマの世話の仕方を先輩に習い、ウマたちと親しくなれるよう、たくさん話しかけました。
- 4月 乗馬療法をおこなうNPOの牧場を訪問** 研究室と交流のある「NPO 障害者のための馬事普及協会」を先生や先輩とともに訪ね、乗馬療法の普及に取り組む施設やセラピー活動の実際を見学しました。
- 5月 オープンキャンパス** オープンキャンパスでは、一人でも多くの参加高校生にウマと親んでもらうために、他の室員と一緒にそのガイド役を務めました。
- 6月 鳥取の福祉牧場で個人研修** 夏休みの帰省を利用して、乗馬療法に取り組む数少ない福祉施設の一つである鳥取県の牧場で、1週間ずつ2回の個人研修を実施しました。
- 7月 前期定期試験**
- 8月 夏休み**
- 9月 後期授業開始**
- 11月 施設でのクリスマス会** 週末は研究や実習のために毎週乗馬療法施設に通うように。クリスマスの日には、研究室の友人といっしょにトナカイの仮装をして、障がい児たちと楽しみました。
- 12月 卒業研究が本格化** 卒業後は乗馬療法のインストラクターをめざしていきたいと思っています。いまは、その障がい者乗馬に関する卒業研究に楽しく取り組んでいます。学内ではウマとのより良い関係を探り、休日も障がい者乗馬施設に出向く個人研修を重ねています。
- 1月 後期定期試験**
- 2月**
- 4年次へ**



卒業後は乗馬療法のインストラクターをめざしていきたいと思っています。いまは、その障がい者乗馬に関する卒業研究に楽しく取り組んでいます。学内ではウマとのより良い関係を探り、休日も障がい者乗馬施設に出向く個人研修を重ねています。